

葉茎菜への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

近頃では野菜は一年中店頭に並び、「旬」を感じることが少なくなってきたようです。日本は南北に長く、気候・風土が各地で異なるので、時期をずらした収穫のできるものが、その一端となっているのかもしれませんが。そこで今回は、これからの季節に旬となるものが多い葉茎菜^(注)について、家計調査結果からみてみましょう。

(注) 家計調査では葉茎菜を、キャベツ、ほうれんそう、はくさい、ねぎ、レタス、ブロッコリー、もやし及び他の葉茎菜に分類している。

キャベツは年2回、はくさいは秋から冬が多い

1世帯当たりの購入数量（平成17～19年平均）を月別にみると、はくさいは10～2月に多く、キャベツは多い時期が2回あります。また、もやしは1年を通して購入数量に大きな変化がありません（図1）。

葉茎菜への支出は減少

次に、1世帯当たりの年間支出金額の推移（平成2～19年）をみると、ブロッコリーは増加していますが、それ以外の葉茎菜は減少しています。特に、ほうれんそうは、約20年間で4割程減少しています（図2）。

地方によって好みは様々

最後に、1世帯当たりの年間支出金額（平成17～19年平均）を都道府県庁所在市別にみると、キャベツは九州地方の福岡市や北九州市など、ほうれんそうは東北地方の秋田市や盛岡市など、はくさいは近畿地方の大阪市や神戸市など、また、ブロッコリーは関東地方の東京区部などがそれぞれ支出金額の上位を占めています（表）。

このように、家計調査では時期や地域性による消費の動向を把握することができます。

図1 月別購入数量

(平成17～19年平均)

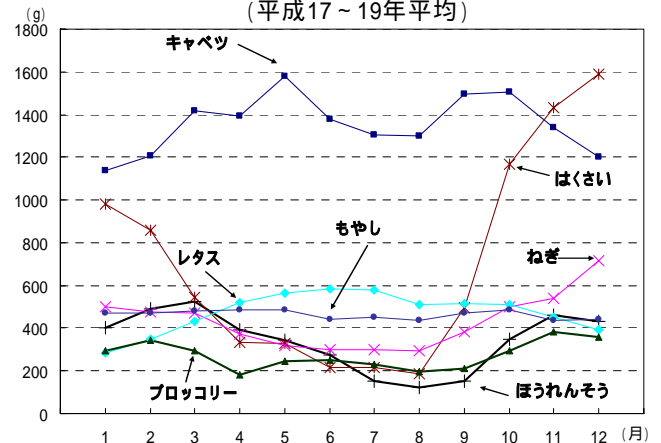


図2 年間支出金額の推移

(平成2～19年)

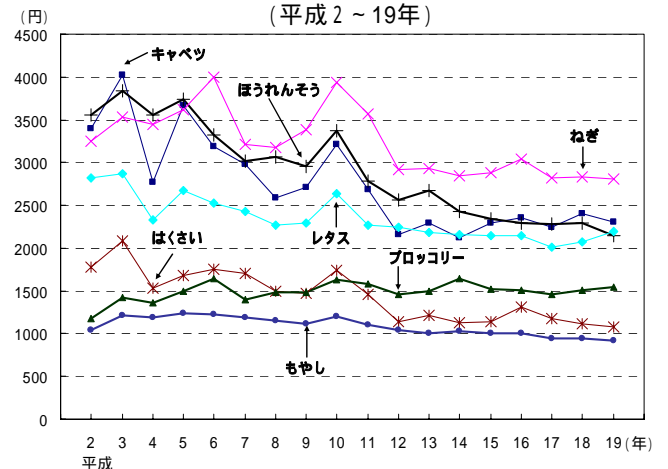


表 年間支出金額の都道府県庁所在市別ランキング
(平成17～19年平均、川崎市及び北九州市を含む)

(単位: 円)

	1位	2位	3位	47位	48位	49位
キャベツ	福岡市 2757	北九州市 2729	熊本市 2654	水戸市 2012	高松市 2007	津市 1862
ほうれんそう	秋田市 3585	盛岡市 3351	仙台市 3308	大分市 1602	熊本市 1573	鹿児島市 1375
はくさい	大阪市 1822	神戸市 1622	京都市 1599	長野市 805	前橋市 777	水戸市 753
ねぎ	京都市 4055	神戸市 3860	静岡市 3841	那覇市 2201	前橋市 2151	長野市 1535
レタス	那覇市 2690	さいたま市 2604	横浜市 2587	山形市 1705	高松市 1677	和歌山市 1652
ブロッコリー	東京区部 2044	横浜市 2015	さいたま市 1987	熊本市 1227	宮崎市 1219	大分市 1206
もやし	鹿児島市 1437	青森市 1322	佐賀市 1229	和歌山市 733	長野市 701	静岡市 658